

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	早稲田大学	整理番号	I - 1
拠点のプログラム名称	開かれた政治経済制度の構築		
中核となる専攻等名	経済学研究科応用経済学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 藪下 史郎 外20名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>10年ほど前から集まりつつある国際水準の若手研究者と彼らの新たな政治経済学を求める幅広い研究意欲を起爆剤として、学内で長年、政治経済学研究およびEUをはじめとした国際共同研究センターとしての役割を果たしてきた現代政治経済研究所のもとに、単なる歴史・地域の枠を超えて内外政治経済制度についての理論・実証・実験分析を行い、その手法を内外コンファレンス、特別集中講座等を通じて啓蒙・教育する研究教育センターを確立する。特に教育面では、院生・ポスドクに対する競争的支援制度（研究協力助手制度、内外ワークショップ・コンファレンス等への研究報告支援など）の導入により彼らの研究インセンティブを創り出す一方で、海外研究協力機関との間での院生の相互受入・合同国際ワークショップの開催を通じて、若手研究者間の国際学術ネットワークの確立・発展を強力に支援する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>脱国境時代にふさわしい政治経済制度や、現実の危機への有効な政策刷新を、経済学と政治学が提携して応える「比較政治経済制度分析」という計画構想は魅力的である。実験経済学に関する手法を開発し、それを独自のMethodというかたちで伝達可能にして、若手研究者の育成や教育に生かしていくという事業方針は、意欲的であるとともに具体的であり、高く評価できる。経済学と政治学の接点についての拠点形成は、早稲田大学の歴史的特長に沿った方向であり、意図がうまく機能すれば日本からの発信にもつながる。</p>			